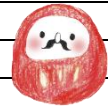


令和6年度 1月の園だより

1月行事予定

1	水	元旦
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	御用始め・頭髪検査
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日(休園)
14	火	
15	水	身体計測 みみょう文庫
16	木	人形劇観劇(2歳児)
17	金	避難訓練・誕生会 園開放
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	園開放
25	土	給食試食会(1、2歳児)
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	園開放



2月の行事予定

- 2日(月) 豆まき
- 14日(金) 避難訓練・誕生日会
- 21日(金) 2歳児進級説明会

3月もひなまつり会や卒園式、0、1歳児進級説明会など予定しています。

「みーんないっしょ!つながる みみょうっこ」

新年あけましておめでとうございます。今年も子どもたちや保護者の皆さまにとって、素晴らしい一年になりますことを願っております。本年も、どうぞよろしくお祈りします。

先月開催された第二みみょうこども園の生活発表会では、4、5歳児の子どもたちが自分たちで劇やお遊戯のプログラムを選び、友だちとストーリーを考えたりアイデアを出し合いながら内容を決めたとのことですが、発表会当日も自分で選んだ役になりきり、舞台上でセリフのやりとりを楽しむなど、素晴らしい演技を見せていました。

現在世界中で、「人生を幸せにする鍵は5歳までのしつけと環境にあり」とか、「2歳までのしつけと環境が整った子は3歳からの知的な発育がよい」と言われています。

このことは、0、1、2歳までにしっかり愛され気持ちを受け止めてもらい、やりたいことを満足するまでやれる環境で育った子は、自分に対する自信(自己肯定感)が身に付き、相手の気持ちがわかるとか、友だちが好きになったり、聞く力も身につくので、3歳以後は知的なあそびを好み、考えたり工夫しながら自分のことは自分で判断する自主性が身につくということです。

生活発表会における幼児の演技を見ていると、お互いが力を合わせる協同性や思考力の芽生え、豊かな感性や表現に一人ひとりの個性が感じられ、改めて乳児期の大切さを感じる機会となりました。大人の主導で情報や知識を子どもに教えることよりも、子ども自信が体験し、時には失敗も経験しながら、自分から必要な情報や知識を「知りたい」「学びたい」と思えるような、子どもが主体性を発揮できるような環境が大切になります。できるようになったことや結果だけではなく、子ども自身が試行錯誤したり、や



友だち大好き!一緒にいると嬉しいね

りたいことを実現しようとする過程を大切にすることで、目に見えない力(非認知能力)を育て、豊かな環境の中で、安心してさまざまなことにチャレンジできる安心感の輪を広げて、子どもたちの豊かな心を育てていきたいと思っています。

これからも全職員で一人ひとりの子どもたちがそれぞれの個性を発揮しながら、その子らしく成長できるよう、たくさんの愛情を注ぎ、質の高い保育を目指して参ります。

最後に、先日開催しました“みみょうこ FAMILY~ふれあいの部屋~”でも沢山の保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。保護者同士のつながりの大切さも実感し、子育ての嬉しさや悩みを共有しながらお話しされている姿がとても印象的でした。子どもたちにとっても、大人にとっても、人と群れて過ごす経験はかけがえないものです。笑い合ったり、ふれあったり、楽しいことも嬉しいことも、時には、思うようにいかなくて、もどかしさを感じながらもちよっぴり我慢したり、気の合う友だちや大好きな人がいるからこそ味わえる経験がたくさんあります。これからもみみょうのつながる輪を広げ、一緒に子育てを楽しんでいきましょう。

みみょう保育園 園長



“みみょうこ FAMILY”段ボールであそぼう~ツリー作り~

大きなツリーの完成!

十二支の由来(令和7年は巳年)

ある時、神様が動物たちを集めて「お正月の朝早く来たものから12番目の者をその年の干支にする」と言いました。猫はうっかりしていたのでネズミに尋ねました。ネズミはわざと約束の次の日を教えました。ネズミが牛のところに行くとき牛は、「歩くのがゆっくりだから、早く出かけるよ」と言うのでネズミはすかさず牛の背中に乗りました。朝になり、神様の門の前まで来るとネズミは牛の背中から飛び降りて、「私が一番!」と名乗りました。そして、牛が2番です。次々にトラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシと干支をつけてもらいました。

次の日に行った猫は、誰もいないのであわてて門番に尋ねると「顔を洗って出直して来い」といわれました。猫が良く顔を洗うしぐさをすることになり、ネズミを追いかけるのはこのときからだそうです。



成人の日 1月13日

大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い、励ます日で、昭和23年に制定され、平成12年(2000年)から1月の第二月曜日に定められました。民法では、“満二十歳ヲ以ッテ成人トス”とあり、法律上独立の社会人としての地位を与えられます。

わが国では古くから成人を祝うしきたりがあり、男性は元服、女性は裳着といいました。まだまだ成人には年月がかかる子どもたちですが、夢と希望を持って成人できるよう、私たち大人が毎日明るく、前向きな姿を見せていきたいものです。

消さないであなたの心の注意の火

広島市南消防署
警防課 救助係

